

## 市政の動き

### 12月定例市議会

## 市長総括説明から

12月3日、平成19年第6回市議会定例会が開会されました。

はじめに、市長から公共下水道の豊岡処理区における下水道受益者負担金の事務処理誤りについて報告とお詫びをし、続いて道路特定財源安定確保、暫定税率の適用期限の延長の必要性についての理解と協力をお願いし、当面する市政の諸課題ならびに提出議案について説明しました。その概要をお知らせします。

### 安全に安心して暮らせるまち

#### 円山川緊急治水対策事業

この事業に関連して、六地藏区の皆さんは隣の日撫区に加わる1世帯を残して全戸移転され、区としての幕が降りました。決断いただいたことに敬意と感謝を捧げます。

治水事業が完成すれば多くの市民が恩恵を受けますが、

そこには誰かの協力があったことを忘れてはならないと思います。

#### 総合流域防災事業

円山川下流部は、円山川下流部治水対策協議会において災害防止に向けた対策の検討が行われてきました。協議会の意向を受け協議した結果、今津地区の浸水被害の防止と軽減に向けて、総合流域防災事業を実施する運びとなりました。

#### 事業主体は市で、事業期間は本年度から平成21年度の3カ年を予定しています。

#### 市民総合健診

平成20年4月に「高齢者の医療の確保に関する法律」が施行されることに伴い、これまで市が40歳以上の市民を対象に実施してきた基本健康診査は、40歳から74歳の方については医療保険者が、75歳以上の方については後期高齢者医療広域連合が実施することになりました。がん検診については、従来どおり、市が実施することになっています。

#### 健診の対象者や実施主体がこれまでと異なることによるため、健診環境の改善や健診

内容の充実を図ることを基本に、平成20年度から名称を「こやか市民ドック」として実施することになりました。より一層充実したものとするとともに、健診が円滑に実施できるように努めていきます。

#### 療育センター整備 （広域的障害児者）

本年4月に、本市が香美町、新温泉町から事務の委託を受け、北但1市2町での共同設置で整備を行うべく事業を進めています。

施設の名称は「北但広域療育センター」とし、平成20年1月に工事着手し、同年8月の工事完成を目指します。

#### 第2次霊園整備事業

11月8日付で、市場区から第2次霊園整備事業受入れについての正式な合意文書をいただきました。これにより、市は、平成22年度完成を目指して事業に着手することとしています。

### 人と自然が共生するまち

#### コウノトリの

#### 野生復帰の推進

本年9月に放鳥された5羽のコウノトリは、すべて元気に豊岡の空を舞っています。

なお、県では、今後は、これまでの評価検証や自立化などへの手法等の確立に力を入れるため、試験放鳥を休止する旨、発表がなされています。

（仮称）八チゴロウの戸島湿地については、県および市により、本年度と平成20年度の2カ年にわたり湿地基盤整備等を行います。

コウノトリ野生復帰の取組みは、生物多様性の保全に関する重要な取組みと言えますが、国連が定めた国際デーの一つに5月22日の「国際生物多様性の日」があります。その記念行事が、国、県および市の共催により、平成20年度には本市で開催されることになりました。平成20年5月24日から26日にかけて神戸市で開催予定のG8環境大臣会合との効果的な連携も図れるよう、有意義なイベントを検討し、市内外にコウノトリの野生復帰の情報発信をしていきたいと考えています。

#### 環境経済戦略の推進

環境経済戦略の一つであるコウノトリツーリズムについては、大手旅行会社が昨年から販売している団体向けの旅

行商品を、本年4月から10月までの7カ月間で約1千人の方が利用されました。市としては、平成20年度以降も継続実施となるよう、引き続き支援していきたいと考えています。

#### 環境経済型事業への取組み

環境経済型事業への取組みを支援するための環境経済型事業推進補助金については、先駆的事业で1件、未活用資源を活用した事業で4件に対して補助金を交付することとなりました。

#### また、事業者の方の要望に応じ、市では、事業者

に研究者を紹介し、産と学をつなぐ取組みを行っており、すでに1件は共同研究が行われる見通しとなっています。今後、ますます連携が進むことを期待しています。

#### 広域ごみ・汚泥処理施設の建設計画

現在、北但行政事務組合では、経済性、効率性を重視して、ごみ・汚泥量の重心となる豊岡市福田から道路延長15キロメートル以内を選定範囲とした施設候補地の選定作業が行われています。

バイオマスタウン推進事業  
搾油したナタネ油は、11月に竹野、日高のそれぞれの学校給食で天ぶら油として使用して子どもたちに提供しました。併せて、学校給食センターにおける廃食油のBDF精製を開始し、学校給食センター配送車に使用しています。

また、木質バイオマスの取組みとしてペレットストーブ2台を購入し、民間業者から寄付された1台とともに設置したところです。

### 持続可能な「力」を高めるまち

(仮称)木屋町小路整備事業  
現在、工事は順調に進捗しており、平成20年6月30日に完成予定です。テナント区画の入居予定者10名も決定し、今後、協議を重ね、平成20年夏のオープンを目指して作業を進めていきます。

今議会に施設の設置及び管理に関する条例を提出しており、また、指定管理者の指定に係る議案については平成20年3月市議会定例会に提出する予定です。指定管理者には、城崎町商工会を非公募で選定したいと考えています。

### 竹貫地区分譲宅地の計画

この分譲宅地は、旧日高町において国府地区の人口増を目的に造成工事が進められていました。しかし、当分譲地は今後も多額の事業費を要し、分譲予定価格が高額になることが見込まれること、付近に整備される予定である道路が県の単独事業として進められているが、分譲開始までに整備されることが困難な状況にあることから、このまま宅地の整備計画を進めるには非常に難しい状況にあります。

今後、事業の在り方について改めて検討し、本年度内には方針を出したいと考えています。

### 全但バスの路線休止申出に 対する取組み

11月に、休止申出路線沿線地域の全世帯およびその他の地域から無作為抽出した世帯を合わせた約6,700世帯を対象にアンケートを実施しました。12月中には集計を完了して年明け早々に分析に入る予定です。

今後は、早急に公共交通に関する基本指針の検討を行い、市としての一定の方針を決め

た上で、休止申出路線への対応をしていきたいと考えています。

### 重要伝統的建造物群 保存地区の選定

10月19日、国の文化審議会が出石伝統的建造物群保存地区を重要伝統的建造物群保存地区に選定するよう文部科学大臣に答申を行いました。

これを受けて、文部科学大臣が12月中にも官報告示し、その告示日をもって正式決定となります。

この度の選定により、出石の城下町地域の文化的価値が名実ともに認められ、出石地域の観光のみならず本市の経済に大きな波及効果が期待され、市としても、出石の持つ文化的資源を活かした個性豊かなまちづくりを一層推進していきたいと考えています。

### 市政の運営

宅地に関する固定資産税の課税誤りの点検状況  
日高地域において68ある大字のうち、26の大字を路線価方式で評価し、残る42の大字を標準宅地比準方式で評価しています。

11月19日に26の大字すべて

の宅地について点検が完了しました。標準宅地比準方式の42の大字については、12月末日までに現地調査を行い、本年度内に全体の処理を終了させたいと考えています。

施設使用料の見直し(一元化)  
現在、市の各施設の使用料の中には、料金設定や利用区分など、内容の統一が図れていないものも一部ありました。このため、施設を利用する方の公平性の確保を主眼に置いた使用料の一元化を図るため、今議会に関係条例の改正案を提出しています。

新料金については、平成20年4月1日から適用したいと考えています。

### 都市計画税の見直し

9月の市議会定例会で説明し、11月には全員協議会を煩わし、市民負担の不公平是正を図るとともに、将来の財源確保のために、都市計画税の市全域課税や固定資産税の超過課税といった選択肢を示し、意見を伺ったところです。

今後も引き続き市民の皆さんの意見を聴きながら、適切な結論が得られるよう努めていきます。

### 事務事業評価の導入

予算・人員等の行政資源が限られている中で、市が目指す将来像を実現するため、行政活動の基本単位である事務事業について評価を行い、その結果を改善・改革の取組みにつなげていくものです。

平成20年度から導入したいと考えています。

豊岡市歌、市の鳥等の制定  
市歌については最優秀作品1点を内定し、現在、補作詞など調整を進めており、本年度内の完成を目指しています。

市の鳥については、人と自然が共生するまちづくりのシンボルとして「コウノトリ」を制定したいと考えています。

また、この機会に合わせて、市の両生類に大災害からの復旧・復興のシンボルとして、特別天然記念物の「オオサンショウウオ」を、天然記念物である玄武洞が本年5月に「日本の地質百選」に認定されたことなどから「玄武岩」を市の石として制定したいと考えています。

これら市の鳥、両生類および石は、12月中に告示する予定です。